

インド道路PPP事業への試行参入について (Pune Sholapur Road Development Company Limited の株式取得)

NEXCO東日本は、インドにおける道路PPP(Public Private Partnership)事業への参入を目指し、これまでにインドに駐在員事務所を設置して市場特性等の調査を行う他、インド最大の道路PPP運営会社であるITNL社(IL&FS Transportation Networks Limited)と覚書を締結し、事業の採算性や参入リスクについて協働調査を行うなど、現地基盤の形成、参入形態の検討に努めています。

この度、道路PPP事業運営に関する知見の蓄積と遂行能力の向上を図ることを主な目的として、ITNL社が100%出資する「Pune Sholapur Road Development Company Limited.(プネ～ソラプール道路の4車線化拡幅事業を行う特別目的会社(SPV:Special Purpose Vehicle))」の株式の約9%(16百万株、約3.5億円)を取得し、インドの道路PPP事業に試行的に参入したのでお知らせします。

また、NEXCO東日本は上記試行参入とは別途、ITNL社に対し、当社が有する高速道路の計画、建設、管理・運営に関する技術とノウハウに基づく技術アドバイザリー業務を本年2月から開始しています。

今後もITNL社とのパートナー関係を柱として、今回の試行参入で得られる知見やノウハウを活用し、日本の高速道路会社5社が共同で設立したJEXWAY(日本高速道路インターナショナル)と一体となって、インドにおける道路PPP事業への本格参入に向けた検討を行っていきます。

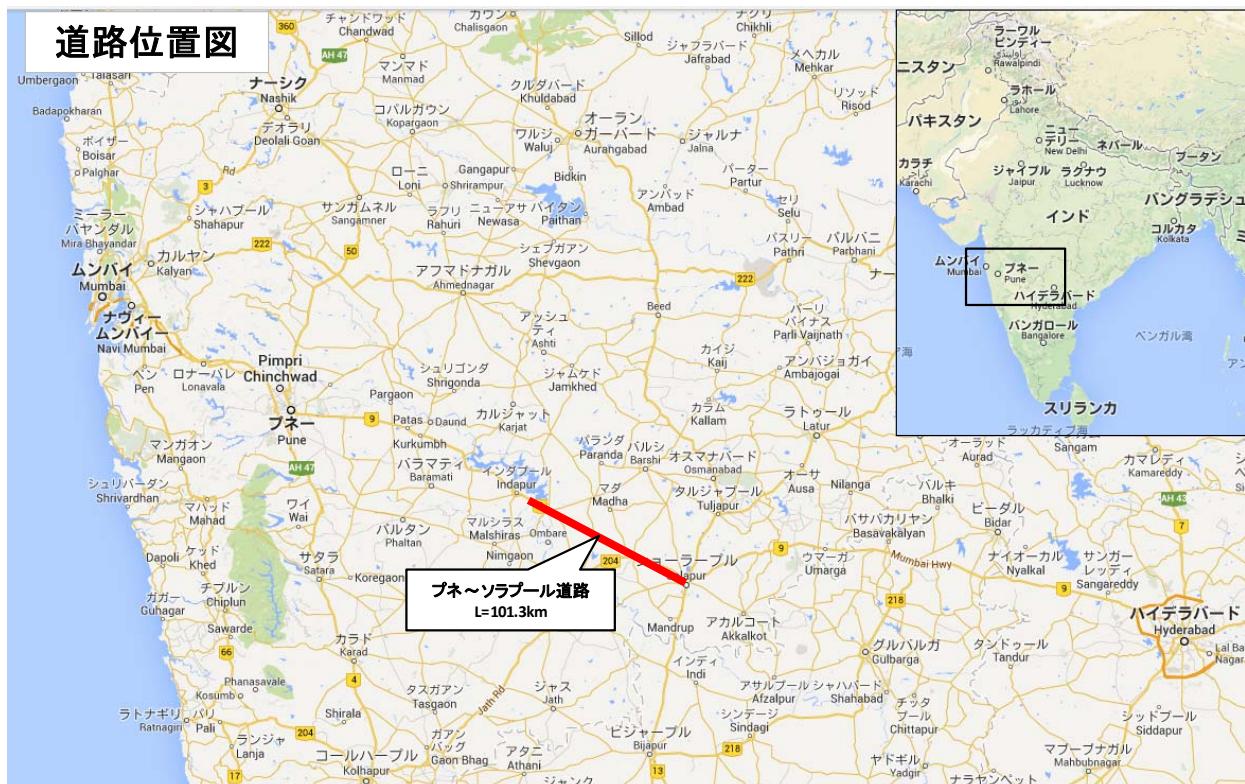
主な経緯:

2010年5月	インド事務所開所(ニューデリー近郊のグルガオン)
2013年6月	ITNL社との間で協働調査実施に関する覚書(MOU)締結
2014年1月	ITNL社との間で「Pune Sholapur Road Development Company Limited. (特別目的会社(SPV))」の株式取得に向けた合意書の締結
2014年3月25日	「Pune Sholapur Road Development Company Ltd.」の株式の約9%を取得

プネ～ソラプール道路事業概要：

事業名	インド国道9号4車線化拡幅事業
所在地	インド国マハラシュトラ州
SPV名	Pune Sholapur Road Development Company Ltd(PSRDCL)
事業費(当初)	約140億ルピー(約238億円)※1ルピー=1.7円
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国道9号のプネ～ソラプール間の4車線化拡幅事業の内、インダプール～ソラプール間101.3km ・Pune Sholapur Road Development Company Limited はNHA(インド国道庁)から道路事業のコンセッション権を取得(2009年9月) ・コンセッション期間は約20年 ・開通予定2014年

プネ～ソラプール位置図：



ITNL 社事業概要：

会社名	IL&FS Transportation Networks Ltd
所在地(本社)	インド国ムンバイ
設立	2000年
従業員数	約170人
資本金	約19.4億ルピー(約33億円)※1ルピー=1.7円
株主構成	① IL&FS/IL&FS グループ(72.46%)、②外国企業他(27.54%)
売上等※2012年度単体	売上高337億ルピー(約572億円)、税引後利益27億ルピー(約46億円)

【平成26年1月24日(金)サイニングセレモニー】



(左:ラムチャンドITNL社長 中:廣瀬社長 右:カーンPSRDCL社長)